

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」岡山高島校

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	② 職員の配置数は適切であるか	○			・時間帯によっては、子どもの見守りができる職員が足りなくなることがある。 →特に子どもがケガをする可能性があるなどの場合に、あらかじめフィードバックの方法を変えるなど工夫していく。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		・階段に手すりがついている。 ・スロープやエレベーターなどはなく、足の不自由な方は来所ににくい。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・会社全体で取り組んでいる。 ・チェック（C）とアクション（A）のための体制が不十分。 →業績評価シートの活用を行う。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・毎年年末にアンケートを実施し、年明け頃に、業務改善に向けた会議を行っている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページにて公開している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		・社内での内部監査を毎年行っている。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・毎月、会社全体で取り組んでいる。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・利用開始時と毎年度初めにアセスメントを行っている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・NC プログラムや遠城寺式発達検査などを活用している。 ・最近入社した職員への説明はあまりできていないように思う。 →今後、意識して取り組んでいく。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・職員間でプログラム内容の共有を行っている。

					・小集団支援のプログラムを作れるようになるという意識を指導員全員が持っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・毎回同じ内容にならないように、各自で意識できている。 ・同じ内容でも提示の仕方を変えて、飽きずに新鮮な気持ちで取り組めるように工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		・子どもの課題に合わせて、勉強をする日、工作をする日など、メリハリをつけている。 ・学校がある日とない日で課題のレベルを変えるなどの調整を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		・原則は個別支援だが、不定期的に小集団支援も取り入れている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・毎朝の朝礼時に実施している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・翌日の朝礼時に振り返りを行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・各自で意識ができている。 ・後で誰が見ても分かるように、具体的に詳しく記録に残すようにしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・最低 6 か月に 1 回、必ず実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		
関係機関や保護者との連携関係	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・児発管や担当指導員が中心となって参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○	・学校に訪問して、情報共有を行うこともあるが、基本的には、保護者を仲介して行っている。 ・小中学校と直接連携を取ることが難しく、不十分。 →これまで通り、保護者様や相談支援員などに仲介していただきつつ、担当者会議や学校訪問などを行う中で、学校との関係性を強化していく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	・医療的ケアが必要な子どもの受け入れは行っていない。

や 保 護 者 と の 連 携	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・状況に合わせて園との連携を取っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	㉗	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		○		・積極的に参加するようにしている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・支援後のフィードバックにて、その日の支援内容や子供の様子をお聞きし、情報共有を行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		・岡山市内 5 校舎合同で、保護者に向けたイベントを行っており、その中で保護者支援を行っている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・管理者が契約時と各書類の更新時に、必ず説明している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・支援後のフィードバック時や、事業所内相談の中で行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・岡山市内 5 校舎合同で、保護者に向けたイベントを行っており、その中で保護者支援を行っている。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・管理者が中心となって対応している。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	・LINE やブログ、instagram などでの発信を行っている。 →利用者、保護者への周知を今後強化していく。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			・必ず鍵付きのロッカーで保管し、外部へは持ち出さないようにしている。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・今年度から、岡山市内 5 校舎合同で地域に向けたイベントを始めた。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・毎月、違うテーマで防災訓練を行っている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・毎月、違うテーマで防災訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・食事の提供は行っていない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット発生の際は、報告書を作成し、全体で共有を行っている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」岡山高島校

保護者等数（児童数）： 47 回収数： 24 割合： 51.1 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	1	1	・周りの声が気になり課題に集中できないことがあるようです。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	21	3	0	・入社時の適性検査を是非に。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	11	6	・階段なので車イスの方は無理ですね…。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ^Ⅰ が作成されているか	23	1	0	・同じ課題を繰り返しできたらいいなと思いました。
	⑤	活動プログラム ^Ⅱ が固定化しないよう工夫されているか	22	2	0	・選択問題は選択肢を増やせたらいいなと思いました。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	12	9	・必要性を感じない。 ・希望していませんのでどちらでも良いです。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	23	1	0	・その都度、職員の方と直接話す時間（フィードバック時）があるので、気になった事を共有できるのが助かっています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	1	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	11	6	・希望していませんのでどちらでも良いです。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	7	0	・本当にいつもありがとうございます。 ・苦情を聞いたことがないので分かりません。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	1	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	7	1	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	24	0	0	

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	3	1	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	9	0	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	19	5	0	・小学校が終わって行く日は、疲れてるようでしぼることもあります。でも工作やゲームを楽しみにしている時もあります。 ・すごく楽しみにしています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	23	1	0	・いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。 ・本人の思いを大事にして下さりありがとうございます。 ・いろいろなことを経験させてもらい、楽しく通えています。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。